



これこそ
女として

もっとカ入れて！

元壁に仕立て上げる

先輩が俺の彼女を

本文41P



優、さっきのシュート
完璧だったな！

来週の試合
お前に任せたぞ！

なに言ってるのさ
お前のアシストのおかげだろ

俺は鈴木 優
サッカー部のフォワードだ

来週の
大切な試合に向けて
毎日練習している

おい！

集中して練習しろよ



そうじゃないとキャプテンに
叱られるぞ

彼女は福山 亜矢
サッカー部のマネージャーだ

ルックスはもちろん
性格もやさしい

みんなのアイドル的存在な彼女だが

彼女は俺の幼なじみの恋人である



考えてみると

こんな完璧な
彼女がいるなんて

みんなきつと俺のことが
羨ましいに決まっている

おい！

ゴクゴクゴク

一本どう

えっ、優また俺達に
飲み物くれるのかよ

全員腕立て100回！

はーはー

はーはー

油断したときにサボリやがって

もうすぐ大切な
試合だっていうのに

こんなダラダラ
しやがって！

お前ら

何やってるんだ？

彼は鈴木剛
俺たちの先輩であり
サッカー部のキャプテンだ
とにかくイチイチ厳しい！

あー
キャプテン！

彼の能力は確かに秀でているが

それゆえ我も強い

しかも彼に関する
奇妙なうわさも
出回っている

だからみんな彼を
かなり恐れている

んっ？

あっ！

すみません！

あの子は……？

...



おお

あの子は…確か

優の彼女だったよな

やっぱり
美人だな



うっ……

うっ

うっ……



チュッ…

チュッ…

うん……



どおりでみんな
心奪われるわけだ

おっといけねえ…



優のやつまた
彼女とイチチャイヤしてやがる

優今どんな感じ？

すごい
俺、体力回復した上に

活力までみなぎってきた

でも……
俺達の間には

誰にも言えない隠し事がある

あら、優君やっぱり
メツチャ興奮してるのね……

へっ……

まだダメだよ

うっ……

うっっ

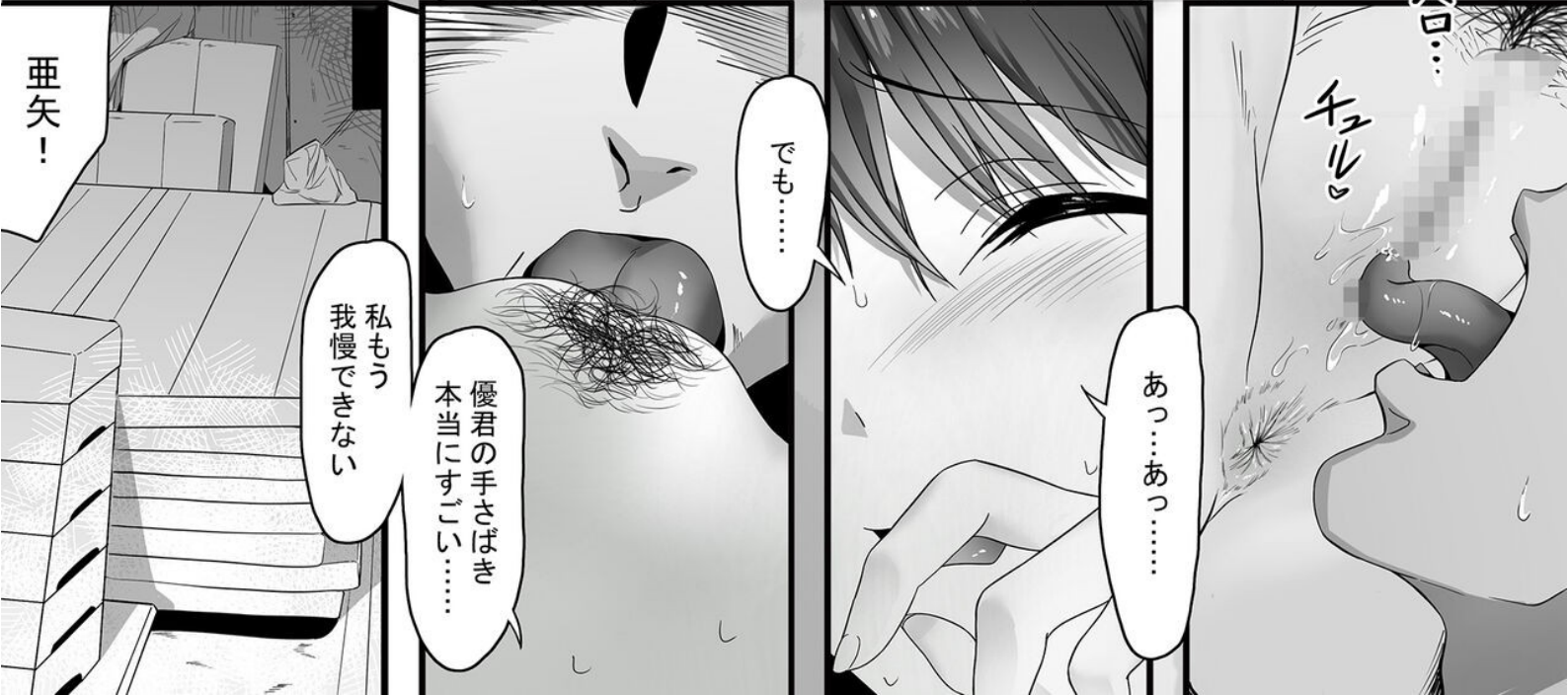
きつ
気持ちいい

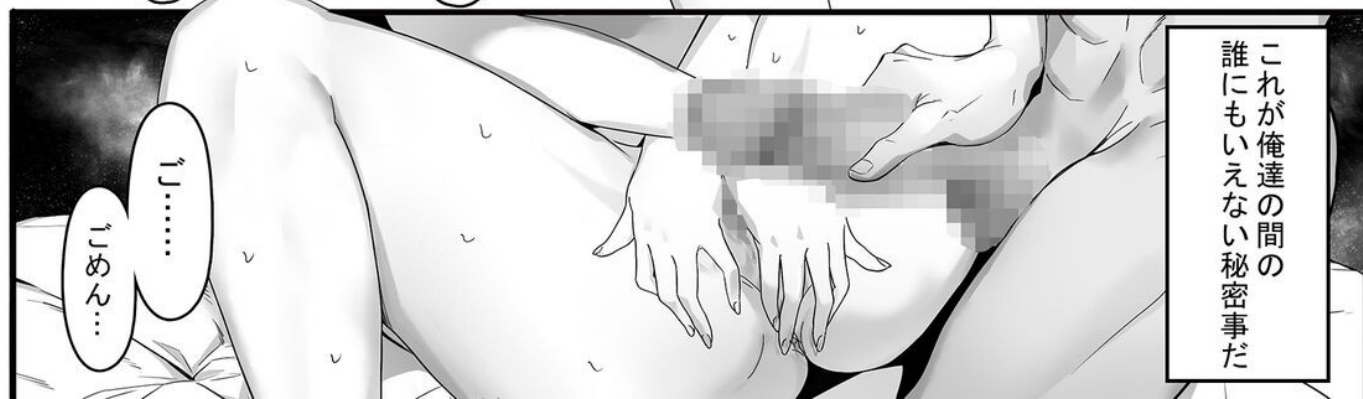
もうダメだよ

練習に影響がでちゃう

もっと気持ちよく
させちゃうからね……

んー





俺たちさ
長い間付き合ってきたけど

ずっと一線を
超えてこなかったもんな

俺たぶんまだ心の準備が
できていなかったみたい……

あ、亜矢……

でも……

俺本当に亜矢のことが好き

亜矢の気持ちを一番大切にしたいと思ってる

もしこれからずっと亜矢と
セックスできないなんて

俺はすごく辛い

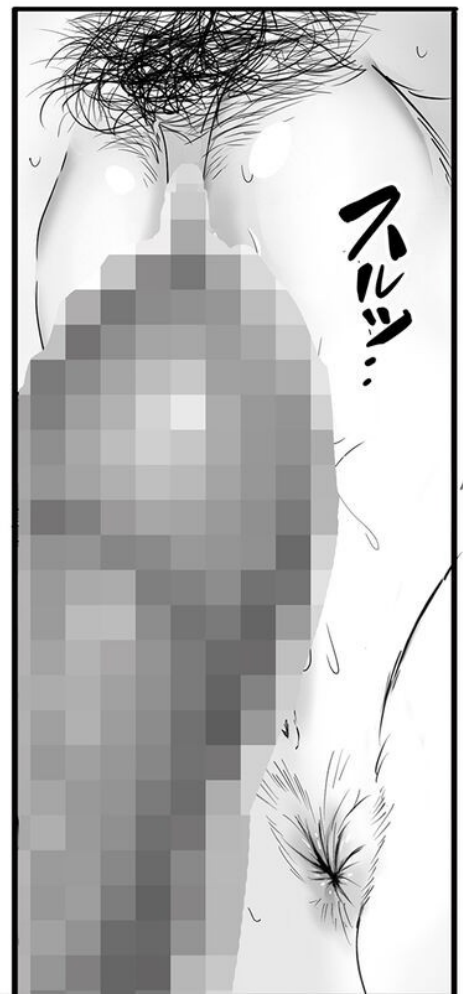
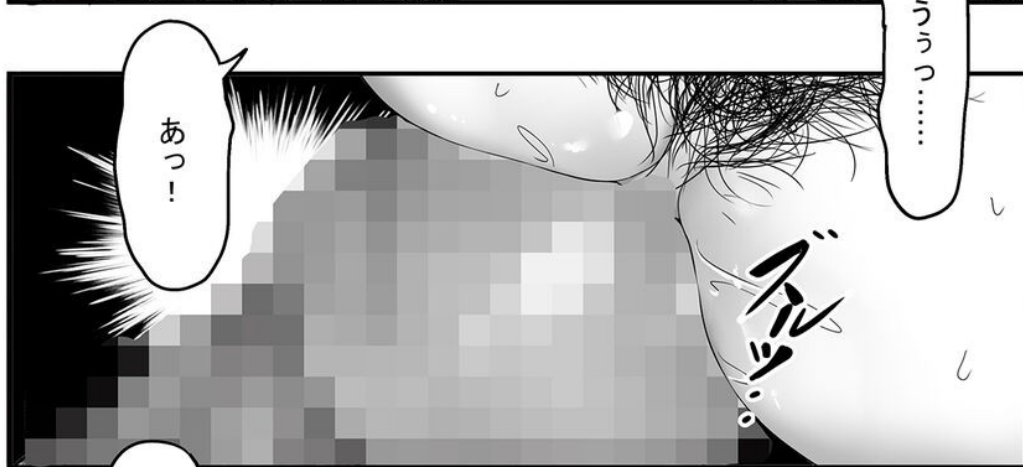
たぶん……
俺我慢できない……

じゃあ……

それならわかったわ……

！







亜矢!

ああー!!

ふー!!

ふー!!

ふー!!

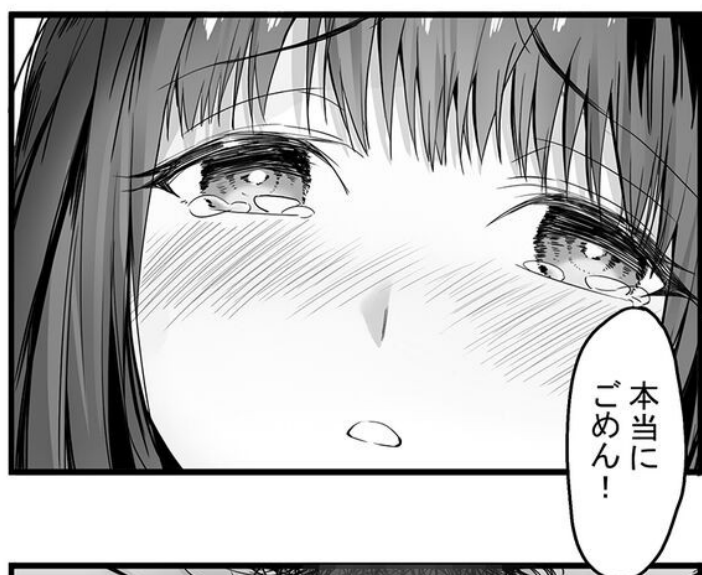
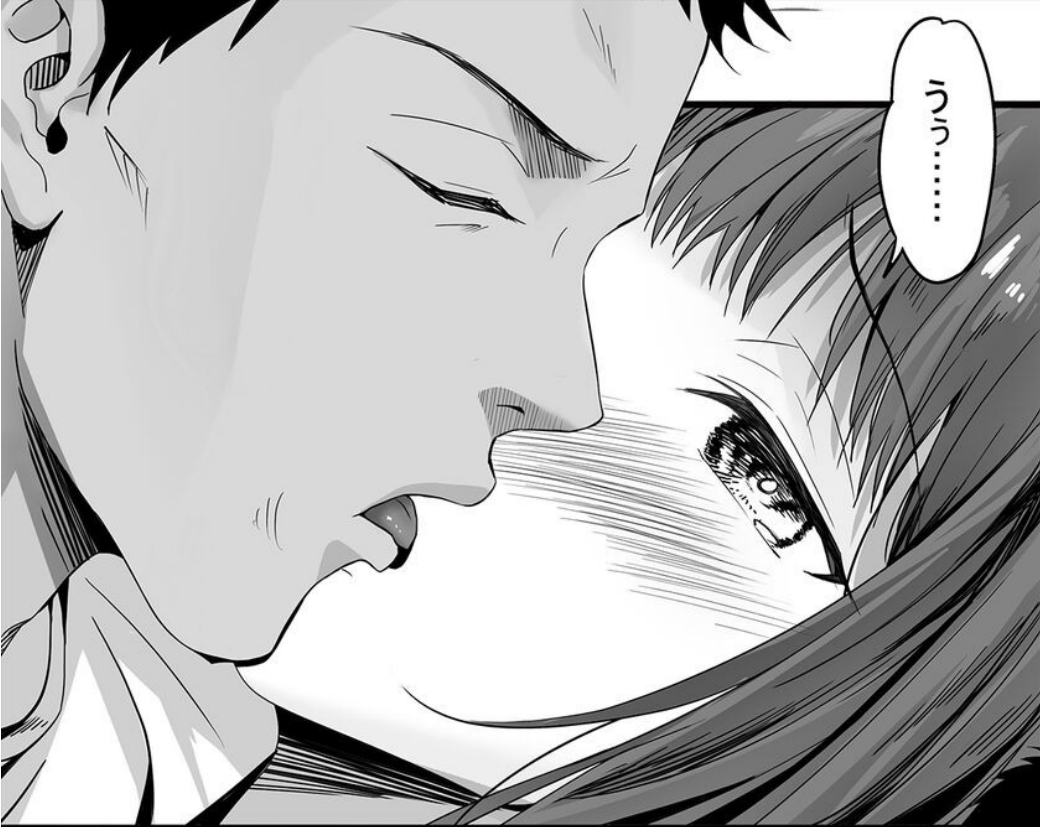
ふー!!

ふー!!

?

こ

これは……



ああ・・・
ごめん

頭ははつきり
しているんだけど

身体がまだ
興奮している

ありがとう！

優君がそう思ってくれてるなんて
私本当に感動したわ

うう・・・

でも私は優君のために

このまま終わるわけには
いかない

私にしっかり
優君の治療させてね

あっ、あっ・・・

柔らかい手・・・

スルッ...

スルッ!

スルッ...

スルッ...

スルッ!

これだけじゃないわよ

イクッ..

パイズリだって

どう?
優君気持ちいい?

あああああ!

あああああ!

ズン
ヤ

あう..

あっ.....

やばい、気持ちよすぎる

あ

あ

うあ!

だ...ダメだ.....

きつ、気持ちよすぎる!

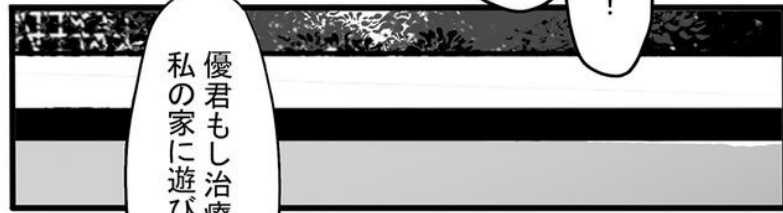
あああああ!

!



私のお父さんとお母さん
数日旅行に行ってるから

そうだ！



優君もし治療が必要なら
私の家に遊びに来てね



ゴクッ…

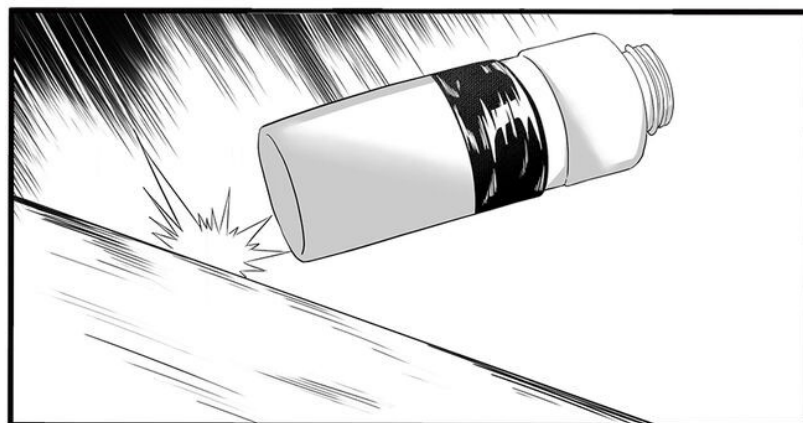
ゴクッ…



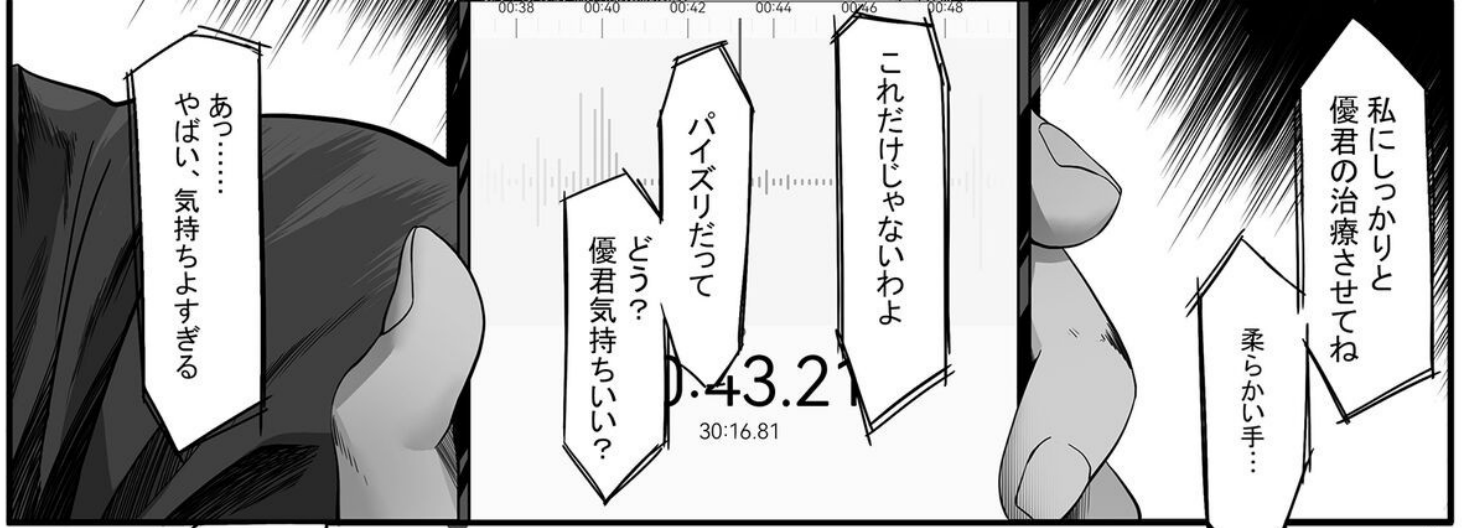
う…

これは……
優君のにおい

幸せを感じる
においだ……！









優君
ああやって言ったけど

本当に
大丈夫なのかしら？

う…
やっぱり少し
心配ね



あっ

優君…



ごめん
あとでちょっと
来てもらってもいい？

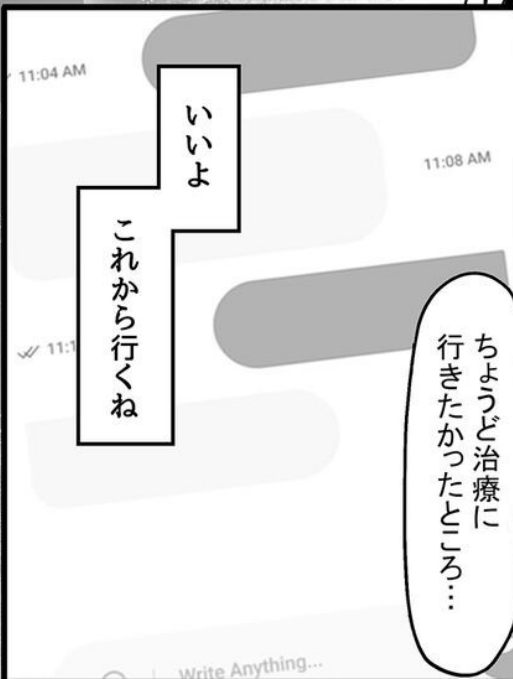
どうやらまた
治療が必要みたいで



ははは…
まったく
こんなに早くに
連絡くるなんて

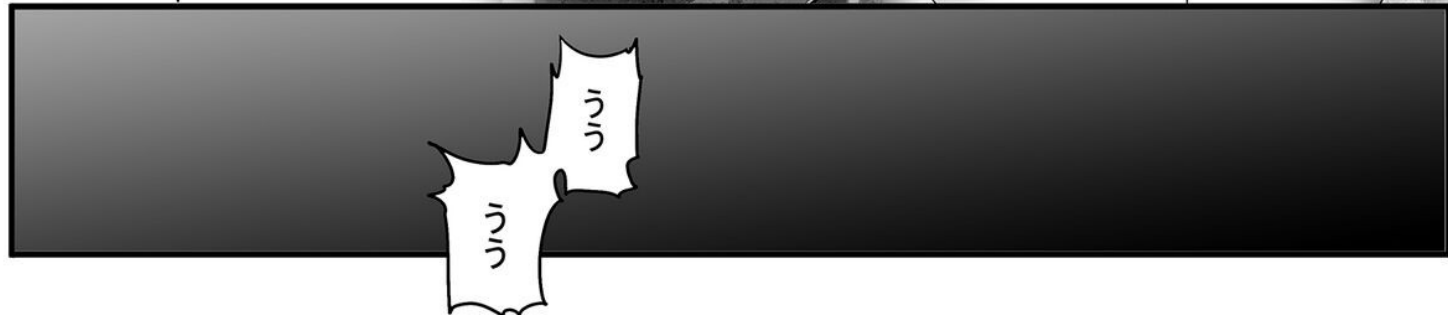
でも、私もちょっとだけ
連絡待っていた

ちょうど治療に
行きたかったところ…



いいよ

これから行くね





ううう……

あああ……

……は……

私のお部屋？

私……

寝ぼけてるのかしら？

頭……
少し痛い……

お部屋の中真っ暗

停電したのかな？



?!



私そういえば…
優君に会いに行って
その後頭がぐらくらして…



あっ！
優君だ

私を家まで
送ってくれたのね？



あっ！

でも…

この香水の匂い
優君だよな？

やはり……

香水の効果は
あるようだな

優と同じ香水で
髪型も真似て

垂矢ちゃんひとまず俺を
優だと思い込め

優君なんか今日
いつもより荒っぽいような……

あっ！
もう少し優しく…

なんか気に食わないことが
あったのかしら？

だからこんなに
焦っているのかな



ち、ちから
強い!

あ?!

ぱー!

でも、この感じ
たまらない……

身体が力に
よって……

ぐにやぐにやに……

言うことを聞かない

しゅっ!

しゅっ!

やあー！

ぴらっ

こ、こんな
状態……

恥ずかしすぎる！

で、でも……

優君私に治療されたいんじゃない
なかつたっけ？

こんな姿勢じゃ
私何もできないじゃん……

ふふふ……

あそこやはり
完璧な形





ゆ…優君？

じゃあ、私を先に
起こしてから？

今日はもう早速
ここから治療するの？

うう…

あつ…
なにがあったの？

私が治療を
するんじゃないの？

ああ…
どうしてニラ
なっちゃったのよ？

気持ちいいけど

ああ…
これじゃあ、わたし
なにもできないじゃん！



まっ、
待って!

あ!
き、気をつけて

痛い!
ちよっと痛い……

わあああー!!

もう少しでスルツと
挿入できてたのにな……

へへ……

あつ!
ちよっと痛い……!!



はっ、入ったぞ！
どう？

俺たち約束して
たもんな？

ああ！

なのに・なんで？

約束を破ろうと
するんだ？

ああ！
もう、やめて……

あっ！
だ、ダメ……

挿入してもいいって
約束だったもんな



ラッキーなことに
君は俺と出会った

ズチュ

ああ!

プク

苦しませる
どころか

ああ……

ああ……

やあー!!

ま、また
入ってきた!

プク

プク

プク

はん

プク

はん

プク

絶対に……

いい思いさせて
やるからな……

ふんっ…垂矢のような
未熟な女の子を目の前にして

あいつは
どんなに慌てたことだろう







なんでこんなに
びちょびちょに……

えっ、どうして……

私……
どうしちゃったんだろ



……

まさか
潮吹いた？

こんなに敏感だとは
思わなかったな……



ふふっ……

こうなりや

俺の興味も
さらに湧いてきた

おもしろく
なってきた……

あっ！ちよ、
ちよっと待って

まだ終わって
ないの？

こうなったら
もう思いっきり
やっちゃおう！

スト
スト

あつ……
また
変な姿勢に……

やあ
あ！

びん

すぐに、奥まで
突き刺してきた！

ああ！

私なんてこんなに
感じちゃうの……

でも……

ああ！！

ずっとこの感覚に
浸っていたい

びん

びん
びん
びん



はちゅ

セックスって
こんなにすばらしいものなの？

しかも優君のこと
もっと好きになっちゃう！

ああ

やっ

ああ

やっ

ああ

こんな気持ちに
なれるなら

私毎日
優君とセックスしたい

らんらん

毎日優君から

私の膣の奥まで
突き刺して欲しい

ふふっ...

癖になって
やめられなくなったらう？

そうだろ？

そうあるべき
なんだよ！







ゆ、優君!!

も、もっと力入れて!

もう少し奥に!
うんっ...

あっ
あっ

はっ

はっ
はっ
び
ぱ

はっ
はっ
はっ
はっ



優君

優君もつと奥に

あぁっ

あぁっ

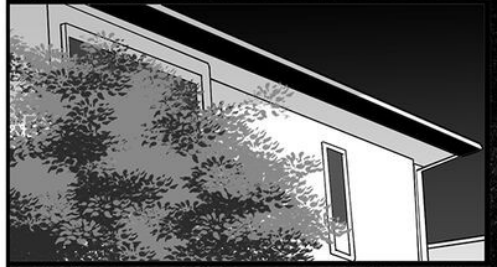
あぁあぁあぁ

ふふっ
気持ちよくなりやがって

今日からしっかり
俺の女になれよ！

きつ、本当に気持ちいい
優君のこと大好き！

優俺に感謝してるだろうな



ごめん
亜矢

君と会えない……

試合前まで



もうすぐお前に

完璧な彼女を

プレゼントしてやる！

